監査役・監査等委員、法務・総務・経営企画・内部監査・社長室 等

貴社関係部門に有意義なセミナーの案内書を送り致します。ご高覧・回覧いただければ幸いです。

直面する疑問点解明　毎回好評 特別研究セミナー

■会場参加　■WEB受講(10日間開放)が可能

～上場はしたけれど・プライム上場はしたけれど～

監査等委員会設置会社の現実的な運用と課題

移行前・移行後には何に気をつけるか？

【講師】弁護士 中西 和幸（田辺総合法律事務所ﾊﾟｰﾄﾅｰ）
平成4年3月東京大学卒 7年4月弁護士登録 田辺総合法律事務所入所
主に会社法関連業務を中心に契約書、規程・議事録、企業再編等を共著し、一連の改正商法／会社法詳説実務書を多数執筆

監査等委員会設置会社に変更した会社が、上場会社の半分近くにもなった。各社、本気でガバナンスの向上のために監査等委員会設置会社に移行したのか？気になるところである。実際に移行してみると、当初の当てが外れ必ずしも移行がよかったとは限らない会社もある。

近年、東証市場再編を迎え多くの会社がプライム上場を申請している。その中で、更にCGコードが改定され、CGコードを「とりあえずコンプライ」としたい、という誘惑は強い。但し、「とりあえずコンプライ」ではすぐに分かってしまうし、「とりあえず監査等委員会設置会社」では「形式的コンプライ」が疑われ投資家から「仏作って魂入れず」と評価されてしまう可能性がある。

本講演では、**監査等委員会設置会社に移行した会社の現実を検討し、移行後の理想と現実のギャップをどう埋めるか、プライム上場との関係をどう調整するかなど、色々な事項を解説する。**

【下記の項目で講義をすすめます】

Ⅰ．監査等委員会設置会社の現況
1 監査等委員会設置会社への移行状況　2 経営と執行の分離
3 取締役の人事権　4 取締役の報酬決定権

Ⅱ．CGコードとプライム上場と監査等委員会設置会社
1 とりあえずコンプライにはなるけれど
2 社外取締役の人数以外に重要なこと
3 プライム上場の意義とCGコードとの関係

Ⅲ．経営と執行と監査の関係をどう整備するか
1 経営の意思決定と業務執行　2 経営と執行の分離と監査
3 二つのモニタリング

Ⅳ．実例から見る監査体制
1 監査部門は単数か複数か　2 モニタリングモデルとは
3 監査制度はどう変わるか

Ⅴ．監査等委員・社外取締役の大きな負担増
1 社外取締役の現代的な意義
2 コーポレート・ガバナンスや内部統制との関係
3 社外取締役に必要な能力　4 社外取締役の責任

Ⅵ．あまり議論されていないメリット・デメリット
1 表面上見えるメリット
2 実際の短所
(1) 組織変更の必要性を株主・投資家に説明しにくい
(2) 意外と減らないコスト　(3) 投資家の理解を得られるか
(4) 任意の委員会を設置するか

Ⅶ．監査等委員会設置会社を見直す
1 監査等委員会スタッフの充実　2 社外取締役への情報提供
3 モニタリング体制と人事・報酬への連動
4 ガバナンス低下リスク　**など**

― 開催・参加要領 ―

開催日時
令和8年9月10日(木)
午後2時00分～5時00分

会 5
港区立産業振興センター 会議室
東京都港区海岸1-4-28

参加費用・支払方法
1名につき 33,000円
（資料代・税込み）
申込受付後、参加証、URL、請求書、会場図等をお送りします。

申込・お問い合わせ先
創業昭和49年 セミナー実績51年
株式会社 **経 営 コ ン サ ル**
105-0003 東京都港区西新橋2-9-3
TEL： (03) 3501-6811(代)
FAX： (03) 3580-3580(代)
E mail: con@sul.co.jp

下記申込書を記入の上FAX又は、E-mail でお送り下さい。

申 込 書　No26-09101

テーマ
監査等委員会設置会社の運用と課題

会社名

所在地　〒

TEL

FAX

E-mail

ご氏名　所属・役職

□会場 □WEB ☑ください

受 付	参加証	入 金	備 考

好評！ WEB受講は開催終了後、一両日中に視聴用URLをお送りいたします。

検 索 ⇒ (株)経営コンサルセミナー ⇒ お申込みの Page・他セミナーへ